



社会福祉法人鶴風会

後援会ニュース

No.44 (平成12年)
社会福祉法人鶴風会

後援会

東京都武蔵村山市学園4-10-1
☎0425-61-2521
事務所・東京都中野区
本町2-15-13 ☎03-3372-7650

爽やかな季節を迎えました。
今号は 施設長のご挨拶 評議員青木継稔先生の学長選出
並びに 介護福祉士の方の御所感をお届け致します。
八月に秋川ふれあいセンターで催されましたチャリティー
コンサートの模様をおのせ致しました。

東京小児療育病院
みどり愛育園

施設長 鈴木康之

今年是一段と暑い夏が続きました。皆様お変わりなくお過ごしのことと存じます。

昨今、厚生行政は改革の時期を迎え、医療・福祉の分野も大きく変わりつつあります。これに伴い、障害児療育にも大きな波が押し寄せました。なにより慢性疾病に対する対応の大部分が介護という新しい分野に移行する事になり、障害児医療もその存続が危惧される事態になったのです。

さいわい、今回の改訂では、障害医療が独立した存在として評価され、ほぼ従来の医療が保証されました。しかも私どもが求めていた超重症児加算の増額、準超重症



児加算の新設が認められました。これらは皆様方のご支援により、東京小児療育病院とみどり愛育園の実践が評価された結果といえます。これからも障害医療のあるべき姿を示し、障害のある方々と共に歩んでゆきたいと思えます。

新たに計画中の西多摩療育施設が、村山キャンパスと有機的に連携し、障害児者の生活と医療に相応しく、療育施設としてのあるべき姿を示すように努力したいと思えます。

今年も夏休みを待って、整形手術を受けた子ども達がいま見違えるような歩行力を得て、新しい学校生活に戻ってゆきました。入院という体験は、「自立」という心を大きく育てながら・・・また、今年も多くの子ども達が体調を壊して入院してきました。

4月から新しい体制になり、まだ慣れないところもあるスタッフも、それなりに努力して彼らを迎えまして。共にこの世界を生きる仲間として同胞として、成長する機会になって欲しいと願います。

夏ともなれば、それぞれに帰省する方々もいます。知人友人である各地方の先生方にお願ひしつつ、送り出す私たちも、帰ってくるまで心配で緊張が絶えないものでも、帰ってきて楽しかった思い出を聞かせていただく時、すばらしい思い出を作ってくれたことに私たちが感動し、感謝したい思いにかられるのも毎年のことです。「本当に良かったね」と喜びながら、障害という見えない重荷を抱えて、明るく生き抜く子ども達。その笑顔を見るたびに、私たちが頑張らなければと思う毎日です。



当日の演奏曲目

シチリアーナ アルルの女 アルハンブラの思い出
その他 日本のうた等々……

チャリティー コンサート 二〇〇〇

去る八月二十六日 秋川ふれあいセンター・ホールに於いて 社会福祉法人鶴風会後援会 西多摩支部「花みずきの会」主催の「ギターとフルート」によるチャリティーコンサートが開かれました。先号でも御紹介しましたが西多摩地区近隣の障害児の親御様の願望にこたえて 旧秋川高校の跡地に「東京小児療育病院の分

院」を建てる案の許可が 昨年暮東京都から得られました。その建設資金の一端にと 西多摩地区の有志の方々が「花みずきの会」をつくられて 今回のファミリーコンサートを企画されました。ギター奏者 長谷川郁夫さんフルート奏者 野原千代さんのご協力を頂き ホールは満席で参加者はその美しい音色に引き込まれながら 奏者お二人の情熱 加えて皆様方の熱い想いを感じました。心暖まる素敵なコンサートでした。
(鶴風会後援会 事務局)



青木継稔教授

東邦大学学長に

青木継稔教授が

選出されました。

社会福祉法人鶴風会

評議員 小川 昭子

本年五月の選挙に於いて 青木教授が学長に選出されました。先生は当『社会福祉法人鶴風会』の評議員としても御協力頂いており 一同大変うれしく 心から御祝い申し上げます。私事になりませんが 小児科医の私は日進月歩の医学におくれないように 種々の小児科学会に出席するように努力しておりますが 最近加齢と共に同窓生の御出席が少く あまりお目にかかる事がなく 心淋しく感じております。青木先生は色々の会で役員をされておられる関係で 殆どの会に御出席されて居られお目にかかる事がよくございます。青木先生は私を覚えていて下さり

御挨拶を頂いたり お話しさせて頂いたりして 同窓生である喜びを感じて居ります。

温厚篤実な青木先生 どうか御健康に御留意され 御活躍下さいませようお願いします。

先生の御略歴を御紹介させて頂きます。

先生は 本学医学部を昭和四十年に御卒業 平成九年より現職の医学部長を務められています。

また学外においては 日本小児保健学会 日本先天代謝異常学会 日本マス・スクリーニング学会

などで会頭を務められ その他 厚生省医師国家試験出題委員 厚生省中央薬事審議会臨時委員 厚生省先天代謝異常等マス・スクリーニング検討委員などの各種委員も務められています。

研究の専門領域は 小児科学ですが 特に遺伝性代謝異常症についてはよく知られています。

介護とレクリエーション

レクリエーション・

インストラクター

介護福祉士 柿沼 英子

介護保険が施行されて4ヶ月、措置による処遇から利用者自身の自由選択へ、利用者にとっては歓迎すべき変化のはずだったが、利用率はいまひとつ延びなかった。

今迄、行政による措置を全額公費負担で受けていた方々にとって10%の自己負担にとまどいがあるのは確かだろう。

しかし、それだけののだろうか。介護保険施行後、利用者の方々から「区役所のお世話になっていた時は言えなかったけれど……」

と言う言葉をよく耳にする。今迄口を閉ざしていた不平、不満、あるいは希望がぼつりぼつりと重い口から洩れはじめている。

人間は誰でも住み慣れた地域で、自分らしく生活しながら、不安のない老後を迎えたいと願う。

老いとは、仕事も健康も、親しい人々でさえも奪われていく、喪失の年代なのである。その中で利用者様が求めているサービスとは何なのだろうか。

不安の第一は経済問題だという人々がいる。自分の余命があと何年かわからないし、最後に頼るも

のはやはりお金だと言うのである。

しかし、この年代にさしかかって高価な耐久消費財を購入するわけでもないし、食も細く、好きな食物が少量あればいい。ブランド品を身に着けたいと目の色を変えられることもない。

その日の食にもこと欠くほど困窮するのは困るが、かと言って食欲である必要は全くないのである。

憲法25条の「健康で文化的な最低限度の生活」を維持することができれば充分である。

訪問介護員として在宅の利用者の方々との触れ合いの中で伝わってくるのは、どんなことでもいい、生きて行く為の心のささえが欲しいと言ふ切なる叫びであった。

心のささえ、それは今日を生きていることの喜びであり、明日への灯であり喪失の隙間を満たし、痛みを柔らげるものではないのだろうか。

方法や手段は何でもいいのである。

心の中に湧き上る様々な想いを誰かに聞いて貰ったり、自分の指や手を使って何かを作ってみる。

若い時に読んで感動した本をもう一度読み返したり、時には青春の歌を口ずさむ。山あり谷ありの人生を振り返り書き綴る。

何でもよい、生活の中に楽しみ

(レクリエーション)を見出すことによつて心の機能がONになり、すこしずつでもプラス方向へ動き出せばいいのである。

レクリエーションという言葉は子供の頃から何度もくり返し聞いているにも拘らず、レクリエーションってなに?と問われれば、どう答えればよいのか困惑してしまう。

広辞苑をひいてみると「仕事や勉強などの疲れを休養や娯楽によつて精神的、肉体的に回復すること、またはその為に行なう休養や娯楽」となっている。

RECREATIONは外来語だから、今度は英和辞典をひいてみると、同じように「仕事の後でくつろぐ為の休養、娯楽、気晴らし」となっている。

RECREATIONのスペルをよく見ると、REは接頭語で単語の頭につき、「再び、しなおす」などの意味になる。CREATEは「作り出す、創造する」と訳されている。

CREATEにTIONがついてCREATIONという名詞形になり、それに接頭語のREがくっついてRECREATION、再び作る、作り直すなどの意味を持つ。

つまり、こわれたものを作り直す、傷ついた人間が再び元気を取



り戻す、その為の休養や楽しみのすべてがレクリエーションなのである。

人生という長い旅のあとの疲れを癒し、喪失の空白を埋める、それが利用者のQOL（生活の質）を高め精神機能を活性化させる。

身体と心は相互に関連し合っているから、心がプラス方向に動き出すと同時に血の流れも活発になり、身体全体が活力を取り戻して行く。

喪失の季節の只中にある人間が求めるのは、このレクリエーションではないのだろうか。

在宅介護の担い手であるホームヘルパーは、まだまだ不足していると言う。あちら、こちらで養成講座がひらかれている。ヘルパーとして在宅の利用者を訪問する時はレクリエーションの視点（生活を楽しむ心）を思いおこして欲しいのである。

介護保険では三十分以上、一時間以内、身体介護四〇二〇円、家事援助一五三〇円、複合型二七六〇円とそれぞれ単価が決められている。だから限られた時間内に『できるだけ効率よく仕事をこなして行きたい』と考えるのは無理からぬことと言える。

しかし、ここで利用者の生活にとって何が一番必要なのだろうか

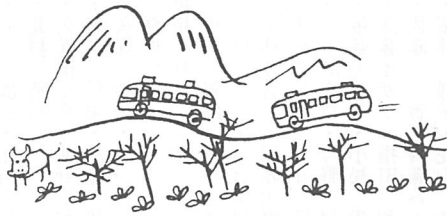
と考えると頂きたいのである。

掃除、洗濯、買物を手際よく片づけあわただしく去って行く援助もあれば、仕事の効率よりも利用者との時間の共有を大切にする援助もある。

どちらが利用者にとって必要なのか、さりげない対話や表情の中から見つけ出して行かなければならない。

毎日の暮らしの中にささやかな楽しみを見い出して行く、レクリエーションの視点を持った援助が利用者や廃用症候群から守る最も有効な手立てではないのだろうか。介護保険のサービスメニューの中に、自由時間やレクリエーションが認められるよう願っている。

（労協センター事業団）



施設の様子

創設以来、東京小児療育病院とみどり愛育園は、地域の障害のある子供達と共に歩んできました。現在約1,500人の障害児・者が通園・外来に通い常時約165名の子供達が入院して、治療を受け、療育・訓練に励んでおります。



ご家族といっしょの運動会



中庭のプールで水遊び

♡ チャリティ・バザールへのお願い ♡

日時 平成12年11月12日（日）
場所 東京小児療育病院

昨年のチャリティ・バザーには、多くの方々や協賛会社の御支援によりまして、500万円余の純益をあげる事ができ、誠に有難く、厚く御礼申し上げます。本年も何卒よろしくお願い致します。食料品、調味料、酒類、石鹼、洗剤、陶・漆器、文房具、書籍、衣料品（新品又は新品に近いもの）など御寄贈をお願い申し上げます。

○御寄贈品は既に受付ております。

年々、バザーの品物が減ってきております。御協力よろしくお願い致します。

○連絡先 病院 武蔵村山市学園4-10-1 ☎0425(61)2521
後援会 東京都中野区本町2-15-13 ☎03(3372)7650

鶴風会後援会(寄付者)芳名

平成十二年二月(平成十二年七月延四〇五名(五十音順・敬称略))

安西 美代・相沢ミツエ・新井 恒子
新 淑子・足立 嘉子・新 幸子
足高 毅・朝山 浩行・荒木美枝子
新井 京子・青木富美子・朝山 裕
安西偕二郎・相見 豊子・青木 盤鳳
青木りう子・浅見 薫子・荒井 朝子
赤沢 孝子・安達 久夫・浅川 恭行
阿部 雅章・青山 慈子・秋元 久治
井上 瑞穂・伊藤 禮・五十嵐いづ子
石川 静子・石田 文枝・伊藤 友二
井上 裕子・一宮 勝也・石川 キク
井上 種子・石田 秀子・伊藤 薫子
板谷越イチ・石川 至・今井まつ江
池田喜久子・今村貴美子・石田 芳子
岩瀬 七重・伊東 モト・市来フジエ
伊藤 文子・飯田紀一郎・飯田 弥生
一林 繁・伊藤 圭子・岩崎 直彌
市川 玉美・井田 和代・石北 寿子
白井 重三・牛込莊一郎・梅原 公江
上田 茂・梅田 寛子・鶴養 澄子
上木 艶子・梅田 正法・梅田みほ子
梅田 嘉明・宇野 明彦・上田 由紀
春陽会・老春苑・江口 環禮
大谷 明子・及川 貞・及川和加子
岡崎 精子・緒方 月・大脇 照枝
大熊 進・長田 安代・大島 誠行
岡田さと子・小野 和郎・奥住 一雄
大橋 和男・小田サツキ・大野 麗子
大木俊一郎・小田みゆき・小原 明
岡山 哲廣・岡田 研吉・大友 伸子
大久保 泰・太田 緩子・忍足美代子
大竹 均

笠原 克
木村甲子郎・木内 徹子・木金ハツ子
木山 博夫・姜 富三・北川 七也
菊池 信彦・北村 清明
黒田 節子・久保田くら・熊野三和子
黒田 純子・黒田 員栄・桑原 耕三
久保 修一・久保 初美・黒田 光保
九津見章子・倉根 理一
倉島医院募金箱・月花 亮
小林 信子・小林 義郎・駒林とめ子
古賀 和子・小林 秀子・古賀美津子
小林 一雄・小林登喜子・近藤須磨子
河野 静代・小出 誠・神津 康雄
小竹原良雄・小竹原安見・今野 信子
近藤 弘子・後藤加寿美・小松 栄一
佐藤 つや・齊藤イサヲ・指田 和明
寒河江和子・佐藤 香・齊藤みどり
齊藤 達子・桜井 様子・先山 隆司
佐藤 中・佐藤 芳子・沢井 寛人
齊藤 俊子・酒井 裕子・佐藤 重雄
佐々木英達・佐々木徹郎・佐竹きよ子
齊藤 美恵・佐川千枝子
白石 勲・白石 芳子・正田二寿子
霜鳥 トミ・島 和・東海林幸子
嶋崎紀代子・嶋田 寛子・島津和貴男
渋谷 昌良・志島真理子・上司 フジ
島峰 元子・白井 貞子・塩野 則次
清水 一輝・志村 博基・新貝 保子
下条 正子・渋谷 朝子
末吉 実子・鈴木 稔・杉本 とし
杉山 卓哉・杉山 尚子・鈴木 秀明
鈴木カツ子・鈴木美代子・炭山 嘉伸
関口 喜久・関 静・清野 和子
宗 恒雄
高垣 益子・田郷 寿正・竹下 こと
谷川 智子・多比良 勉・高槻 義夫
高橋 龍子・棚瀬 延・多賀 敦子
竹本 照子・武田 徹・竹沢 修一
高橋 久子・多田 久人・谷 絹子
高野 玄興・立原 芳子・田中 明美
田原 久子・田中 さだ・田中 宗史
田部 秀山・竹川 恵・武田みつ子
田中喜美恵・高木八千代・高橋 和子

沈 在俊・千秋キヨ子
鶴岡 康子・月本 一郎・月本 伸子
辻本公美子・壺坂比路里・堤 俊一郎
寺野 堯子
豊川美枝子・富岡 瑞子・富沢千代子
豊島 久子・東邦会宮城県支部
中野 敏江・長野 文子・直井喜美子
中川 甲子・成毛 典子・中山 年子
長井千鶴子・中倉千鶴子・中村志津子
永沢 康滋・長岡 貞雄・並木 温
仲村 健一・中山 公・中谷 尚登
中村 一男・中野加寿枝・中川 雅明
長塩 伸行・中村 脩・中澤 弥生
西岡 将・西平 守夫・丹羽 修
西宮 常代・西沢 憲司・新野 稔
野村 和子・野呂みち江・野村 直子
野中 杏栄・野中 博子
林 堪子・畑 靖子・橋本 静子
浜田 雅・秦 和子・蜂谷イソ子
半田登喜代・馬場 健一・原田 孝
林 栄子・坂堂美都子・原田千鶴子
長谷川玲子・早川 芳江・原田裕美子
原田 則雄・蜂須賀ふみ子・原山国秀
平沢 幸子・東出 祥子・弘瀬 富美
東野 寿美・日野 久子・足田 照子
平嶋 信子・飛見 澄子・平田 徹
久武 朋子・平賀千恵子・日根野妙子
平沼扶美子
福田 静子・藤田 親代・藤井 京子
藤田ルリ子・府川 則子・藤崎 きよ
福永 光子・福田 孝子・藤田よし江
古谷 貞子・藤田 寛子・伏見 佳子
星野 和子・発地瑠璃子・堀川 一博
星野 誠・本田 由利
松岡 玉枝・松野マサヨ・丸山 和子
正林婦美子・松本 知子・丸茂みや子
松尾多希子・松山 家昌・松原 美保
松岡 昌子・前田 澄子・松井 吉彌
牧 幸・益子 智貞
三浦 眞一・宮本 みち・宮川千鶴子
水上 淳子・三木 英子・三登 和代
宮川美智子・三宅 三
村上 通・向山 徳子・向山 秀樹
村井 昌久・村川 公一・武者 増穂

村島 良子
森田 和子・森川 幸江・森 克彦
森 勉・森 紘子・森 千恵子
諸富 杏子
山口 銀子・柳谷 紀子・山田三枝子
山佳美津子・山本 節子・柳澤 信子
山木 茂子・矢高レイ子・矢野 春雄
山田 智政・山本みどり・山崎 義郎
山出 孝子・山崎 郁子・安土 達夫
保田うた子・山田 規子・山田 記一
山田 皐月・山口 之利・山下 香澄
山岸 梅子
湯川れい子・由布 水城
吉田 栄子・米沢 マチ・米山 杏子
吉見 梓・横山ちとせ・米谷もりの
横手 方・横山 隆子・吉澤 照
吉野谷友香・依田 桂子・吉田 友英
吉田 正巳
渡辺古都江・和田 俊洋・若月 澄子

社会福祉法人鶴風会へ御寄附
ご芳名(法人・団体・個人)
平成十二年二月(平成十二年七月
六十四名(五十音順・敬称略))
国際ソロプチミスト東京葵
施設後援会・即清寺・拓洋物産(株)
立川酸素(株)・宝仙学園・父母後援会
東和防災工業(株)・豊成工事(株)
バザー実行委員会

飯田 順一・石丸正太郎・海老原健介
奥井雄一郎・大串 保雄・亀井 博之
神田 功一・菊池 由美・川村美知子
小嶋 伸江・齊藤 雅彦・関根 雅弘
高浜 明彦・高橋 京子・寺内 政志
竹中 幸宏・中里由理枝・長谷川美加
馬場 文彦・面田佳奈恵・山田沙代子
山下 順子
東京小児療育病院
みどり愛育園へ(寄付者)芳名
平成十二年二月(平成十二年七月
三十八名(五十音順・敬称略))
福田 勝彦・井上みとし・宇佐美寿一
内山 勝広・海老原健介・榎本 光弘
小保 晃・大貫 淳・川嶋 信雄
龜井 博之・菊池 豊・木暮 元夫
佐藤 宣・佐藤 登・佐伯 賢二
清水 宏・清水 光雄・下川 太
杉本 佳枝・瀬野 国男・清宮 祥子
棚川 幸次・都築 高司・萩原 稔
保坂 忠孝・福岡 憲二・前田 稔
松山 文夫・三谷 雄策・守田 洋
山谷 登・山谷 敏雄・矢舟 康修
矢島 元信・矢島 亜紀・安本 和利
吉永 勇男・長井千鶴子

☆御寄附振込方法☆
後援会ニュースと合わせて郵便局の
振込用紙のみを同封致しておりますが、
銀行の方が御便利の方は下記へお願い
致します。
○東京三菱銀行中野支店(店番151)
○普通預金
○口座番号 4107235
○口座名
社会福祉法人 鶴風会後援会